


5月15日 賤ヶ岳 と 余呉湖を取り巻く山々 竹原順治

山名	賤ヶ岳 と 余呉湖を取り巻く山々	山行名	個人山行
ルート	JR 余呉駅前をスタート・ゴールにして余呉湖を取り巻く山々を反時計回りに1周		
山行日	2021年5月15日	天候	晴れたり曇ったり
参加者	リーダー： 竹原順治		サブリーダー：河野典子
	男性： 佐々木康治、西川洋、		
	女性： 上杉郁子、竹原絹栄、幾田邦江、上田秀子、伊藤多恵子		
	合計： 9 名		

ルート概略図 	コースタイム					
	地名		時： 分	地名		時： 分
	JR 余呉駅	集	9:00	公法寺山	着	12:20
		発	9:10		発	12:30
	余呉湖観光センター	着	9:25	賤ヶ岳 (集合写真)	着	13:10
		発	9:35		発	13:40
	登山口	着	9:40	大岩山	着	14:30
		発	9:40		発	14:40
	権現峠	着	10:25	登山口	着	15:05
		発	10:30		発	15:05
大平良山 (昼食)	着	11:05	JR 余呉駅	着	15:10	
	発	11:45		発		

山行報告

公開登山で一般参加者7名を含む約20名での山行計画であったが、コロナの緊急事態宣言発令中ということで公開登山は断念し、個人山行として山友会有志9名の山行となった。

JR 余呉駅前の駐車場を予定通り出発し、余呉湖を左に見て一般道を歩くこと約1km余、観光センターのトイレを借りて、各自山行準備のストレッチをした後、登山口へ。獣柵の扉を開けて入山。林道出合までの高度差175mを登り切って一息入れる。次は権現峠を經由して今日のコースの最高峰・大平良山(標高458m)まで約140mの高度差を登り切って昼食です。林立する広葉樹で視界はきかないが、新緑が目やさしく、時折差し込む木漏れ日が疲れを癒してくれます。昼食後の歩き始めで方向をめぐってひと騒動。コンパスで方向を確認して公法寺山から賤ヶ岳を目指す。時折、木々の間から余呉湖が見えるが、全般的に視界は広がらない。しかし、新緑からの木漏れ日の道は所々に倒木はあるが、よく整備されていて気持ちのよい山歩きが満喫できる。賤ヶ岳に近づくまで全く人に出会わないコロナ下では密にならない理想のコースだ。賤ヶ岳(421m)は、ロープウェイでも登れる観光名所だけあってトイレもあるし、南に琵琶湖とそこに浮かぶ竹生島、北に余呉湖と360度の展望が広がる絶景のスポットです。30分程度景色を楽しみ、集合写真を撮って、尾根伝いに北上して大岩山(270m)経由でスタート地点のJR 余呉駅に向かいます。JR利用の2名の参加者にとって、帰路の電車の時刻は気になります。何せ、1時間に1本ですから。山道を急ぐと危険ですが、登山口から駅までは舗装道。あと数分後に来る電車に乗るため、2人は走る。無事、3時11分発に乗れた。車山行の7人は、その電車の2人に手を振って見送りました。

ヒヤリハット：なし



感想

幾田 邦江

余呉湖は、冬のワカサギ釣りで有名で、テレビで何度か目にした湖だと分かり、テンションが上がりました。

艶やかな緑の若葉、青紅葉、淡紫色の花が長く垂れ下がる藤、時折「トトロ」が通り過ぎたかのような大きな風、賤ヶ岳の絶景等を味わい、気分もリフレッシュできました。

下山した場所で、CLさんが、片田舎で本数の少ない列車があと数分で来ることを教えてくださった為、ダッシュし、無事電車に乗れました。飛び乗ったドア越しに大きく両手を振ったら、遠くのほうで皆さんも大きく手を振ってくださったので、まるで高倉健さんの映画のワンシーンのようで感動しました。只、後悔した事は、お世話になった同行の方々に、ろくに挨拶もせずダッシュしてしまった事です。ごめんなさい。